

科目ナンバリング		U-SCI00 22409 LJ58			
授業科目名 <英訳>	地球物理学概論II Introduction to Geophysics II		担当者所属・ 職名・氏名	理学研究科 理学研究科 理学研究科	准教授 重 尚一 教授 吉川 裕 准教授 金子 善宏
配当学年	2回生以上	単位数	2	開講年度・開講期	2025・後期
曜時限	金2	授業形態	講義（対面授業科目）	使用言語	日本語
科目番号	2409				
【授業の概要・目的】					
<p>地球に住む我々は、地震、火山噴火、異常気象などの地学現象に苦しめられるが、多くの地学現象の恩恵も受けている。それらは、惑星「地球」の通常の営みにすぎず、惑星「地球」や「地球」で起こる様々な現象を理解し将来を予測することは、我々が地球と共存するために必須であり、地球物理学はその手助けをする学問である。</p> <p>本講義では、地球物理学の諸分野を概説し、将来、地球惑星科学を志すかどうかに関わらず、理学を修めた者が地球で起こる諸現象に対してどのように対処すべきかを自ら考え、行動するために必要な最低限の知識と能力を習得することを目指す。さらに、折にふれ、最新の研究内容の紹介も行なう。</p> <p>地球物理学概論I（前期）と合わせて履修することが望ましい。</p>					
【到達目標】					
地球物理学の諸分野があつかう諸現象を「地球の活動」と「地球の大気と海洋」の二つの柱のもとに概観し、理学を修めた者が地球で起こる諸現象に対してどのように対処すべきかを自ら考え、行動するために必要な最低限の知識と能力を習得する。					
【授業計画と内容】					
<p>以下の各項目について、それぞれ1～2回ずつ講義を行う。</p> <p>地球の活動： （金子） 地殻変動 地震 重力 火山活動</p> <p>地球の大気と海洋： （吉川） 地球気候の長周期変動と海 海洋表層の流れ 海洋深層の流れ 大気海洋相互作用 （重） 大気の構造 大気の放射過程 降水過程 大気の運動</p> <p>授業の進め方は、理解の状況等に応じて、講義担当者が適切に決めることとする。</p>					
----- 地球物理学概論II(2)へ続く -----					

地球物理学概論II(2)

【履修要件】

地学に関する予備知識を必要としない。

【成績評価の方法・観点】

平常点（35点）および定期試験（筆記；65点）で総合的に評価する（100点満点）。

【教科書】

使用しない

【参考書等】

（参考書）
授業中に紹介する

【授業外学修（予習・復習）等】

復習を中心とする。講義プリントのフォローを十分にする。

（その他（オフィスアワー等））

オフィスアワーは特に設けない。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。